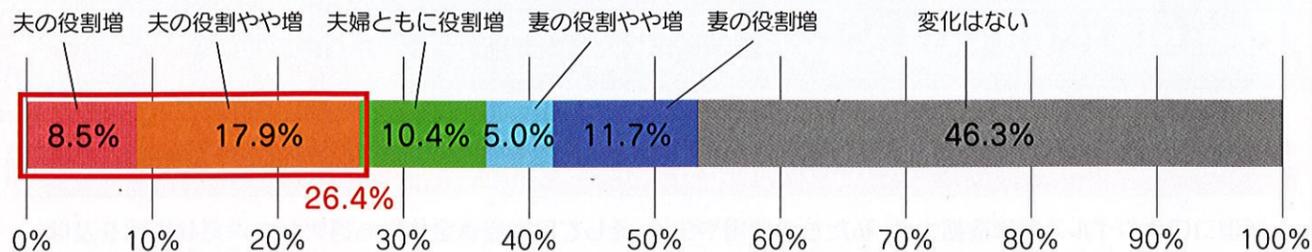


生活行動の変化

Q: 配偶者(あなたの夫又は妻)の働き方に変化はありましたか。該当するもの全てに回答して下さい。

回答者割合	テレワークの利用・利用増加	労働時間の柔軟化(時差出勤、フレックスタイム等)	労働時間の減少	労働時間の増加	その他の変化	変化は無い
全体	18.7%	10.0%	25.0%	3.5%	1.2%	51.9%

Q: 今回の感染症の影響下において、家事・育児に関する夫婦間の役割分担に変化はありましたか。



→テレワークの利用など、夫の働き方が変化した家庭では、家事・育児での夫の役割が増加する傾向となりました。

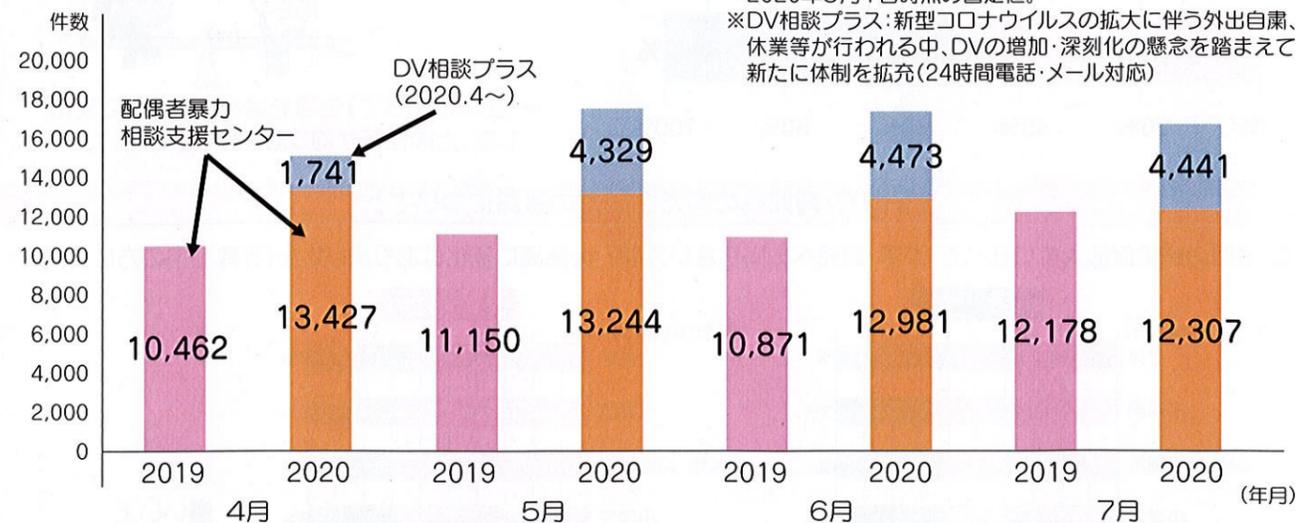
コロナ発生後は、テレワークやオンライン活用の普及によるワーク・ライフ・バランスを推進しており、また、在宅勤務を活用してフルタイム勤務や業務の幅が広がることで、これまで課題とされていた男性における家事・育児等の増加や女性の活躍推進が期待されます。

それぞれの家庭において、家事・育児等に関する夫婦間の分担を見直すことで、生活の充実度合いを高めることが大切です。

DV相談件数の推移

外出自粛、在宅勤務、休業などが行われる中、生活不安やストレスからのDV等の増加・深刻化が懸念されます。

DV相談件数の推移



(出典)内閣府男女共同参画局調べ
 ※全国の配偶者暴力相談支援センターからの相談件数は、2020年9月1日時点の暫定値。
 ※DV相談プラス:新型コロナウイルスの拡大に伴う外出自粛、休業等が行われる中、DVの増加・深刻化の懸念を踏まえて新たに体制を拡充(24時間電話・メール対応)

→5月、6月の相談件数は前年同月の約1.6倍に増加しました。

高崎市DV相談件数	4月	5月	6月	7月
2019年度	24	14	18	54
2020年度	53	49	40	40



男女共同参画セミナーの開催

パーソナルカラーセミナー ~自分に合う色を知ろう~ 9月17日(木)

一般社団法人日本カラーコーディネーター協会認定講師の高橋都紀さんを講師に迎え、色の知識を目的や用途に応じて実際に使いこなすための「色彩活用」方法を学び、自分の魅力を引き出すパーソナルカラーや色で心身を元気にするカラーコーディネートの手法を教えてくださいました。本セミナーでは、色の特徴(明るい・暗い/鮮やか・穏やか/暖色・寒色(イエローベース/ブルーベース))を把握し、四季をイメージした色の傾向を学びました。また、それぞれの瞳や肌・髪の色などでの傾向が強いのか、パーソナルカラーチェックリストを活用し、自分の色素傾向を確認しました。

高橋さんは受講者の席を一人ずつ回り、瞳や肌の色を確認し、それぞれの似合う色合いを丁寧に説明してくださいました。高橋さん曰く、似合う色の傾向がわかる一方で、苦手な色の傾

向もわかりますが、「似合わないからその色をつけてはいけない」ということではないといひます。なぜならばカラーコーディネーターはこの色が似合う、似合わないという考えではなく、「自分の外見での良いところを改めて発見すること」が重要だからだそうです。そして、今まで手に取らなかった色に対して、今後の生活の中で楽しんでいただきたいとメッセージをいただきました。

【参加者の感想】

楽しく有意義なセミナーでした。家族にも教えてコーディネーターに役立てたいです。



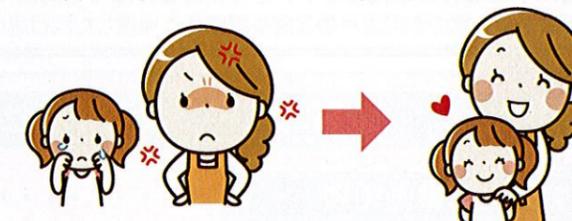
片づけられる子どもを育てる講座 11月18日(水)



講師として迎えた整理収納計画くらここと代表久保かをさんは、都内ゼネコン設計本部等に勤務後、群馬に帰郷しリフォーム会社等に勤務しました。片づけは、物がある限り一生続けていかなければならない大切なスキルです。家庭内の事だけではなく、学校や、職場、ありとあらゆるところで必要になり、子ども達が自立して、社会に出て生き抜いて行くためにも、出来るか出来ないかで大きく影響していきます。家事や育児等を家族で支え合い、日々の暮らしを快適にすることを目的とし、親から子どもへ片づけを実践できるような伝える方法を学びました。

本講座では、整理収納の基本や手順を学んだ後、子どもの片づけのための親の役目や対処法を教えてくださいました。親から子どもへ感情を表すときに、YOU(あなた)メッセージからI(わたし)メッセージに変えると、子どもは親の要望に応えようとしたくなるということです。

(例) テーブルを(あなたが)片づけなさい! テーブルを片づけてくれると(わたしは)嬉しい、助かる。



また、子どもに片づけを嫌いにさせないことが重要であり、自発的に片づけることでスッキリ気持ちが良くなるイメージを持たせることが大切とのことでした。わかってはいるものの、それを日々実践し、子どもへ意識づける大切さを再認識しました。参加者の方々も真剣に聴き入り、早速ご家庭で実践してみたいと前向きな感想が寄せられました。

【参加者の感想】

「忙しい」で後回しにしてはいけなないと、やる気をいただきました。具体例が大変参考になりました。

パパのための料理教室 ~パパと子どもでつくる簡単クリスマス料理~ 12月12日(土)

男性への意識改革や生活スタイルの変革を促進することを目的に、パパと子どもを対象に料理教室を開きました。

メニューは、クリスマスが過ぎてでも家庭料理として作れるキャロットライス、リースハンバーグ、パンプキンサラダ、フルーツポンチの4品。玉ねぎのみじん切りに涙をこらえながら包丁を握り、フルーツポンチに使う白玉粉を楽しくこねる子ども達。ハンバーグの彩りを考え、きれいに成型するパパ。みんなで力を合わせ、栄養バランスの取れた料理が完成しました。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止のた



め、例年のように料理後の会食はせずに参加者の皆さんにはメニューをお持ち帰りいただきましたが、家族に見せることを楽しみに上手に盛り付けていました。講師の松原祥子さんからは食事の楽しさを教えてくださいました。味が薄くなっても濃くなっても、その後の調整は可能であることから料理に失敗はないということです。また、コロナ禍の中で家庭内で家族と一緒に過ごす大切さなどのお話を聞き、親子で力を合わせて料理に取り組みました。

